



2014年2月28日 あいとぴあ 42号  
 発行 相原まちづくり協議会  
 責任者 理事長 土田 恭義  
 所在地 町田市相原町 597-56  
 電話 042 ( 774 ) 2982  
 印刷 木村印刷社 042-771-9985

## 第 16 回まちづくり講演会が開催されました



医療の需要はますます大きな課題となってきたのが現状です。住民座談会でも、総合病院に掛るためには相模原協同病院や八王子医療センターなど相模原市や入王子市の医療機関を利用している人が多く、行くにしても、バス停までかなり急な坂道を歩かなければならず、高齢の病弱者にとっては極めて厳しい現実とのことでした。この点をいかに解決す

今回の講演会は11月10日に堺市民センターで、相原まちづくり協議会設立30周年特別企画として「みんなで考える相原の医療と福祉」と題し講師の皆様にご講演頂きました。社会の高齢化そして少子化が進行する中、医療・福祉問題への関心が益々高くなっています。昨年7月に町田市にてまとめた「町田市都市計画マスタープラン」地域構想編」におきましても、安心・安全のまちづくり方針が明記されました。住民の高齢化に伴って

るかが今後の大きな課題です。この現状を踏まえ、行政機関をはじめ相原を活動拠点とする各機関・団体の関係者の方々が、現状の取り組みなどについてお話しいただきました。中長期的な観点に立った今後のまちづくり活動に活かしていきたいと思えます。少子化が進む中で明日の相原町を築く子どもたちをいかに見守っていくかも重要な課題ですが、今回の講演会は高齢化の問題を優先してとりあげました。

### 町田市いきいき健康部次長兼健康総務課長 荻野 真一

1・町田市の医療の現状・東京都保健医療計画において、町田市は、八王子市、日野市、多摩市、稲城市、5市の「南多摩保健医療圏」に属しています。救急医療など広域的な病院の連携が重要となっていますが、特に町田市は神奈川県との

理的特徴から神奈川県内の高次救急医療機関とも緊密に連携していきます。

2・現状における課題・東京都の既存病床数は10124床ありそのうち町田市は20の病院で4002床ありますが相原地区は、クリニックや病院などの医療機関が少ないことが課題となっています。しかしながら、病院を新たに設置するのは難しい現状があります。

3・安心な医療の確保・行政の取り組みは、広報まちだで月に3回救急当番医や診療時間等の情報を掲載しています。健康課における具体的な取り組みとして予防接種や検診の一部で市外の医療機関を利用できますが、現状では検診の方法や施設、科目、項目などの違いなどから相互交流には難しい課題もあります。しかし問題を解消しながら協力関係を築いていけるよう努力しています。



連携が重要です。市民の健康を確保し、市民が安心して生活を送るために、充実した地域医療体制の構築が重要です。高次の救急や特殊な医療は三次救急医療機関などが担当しますが、町田市の地

## 町田市いきいき健康部高齢者福祉統括係長 叶内 昌志



介護施設の種  
類は大きくは 4  
種類あります。

養護老人ホ  
ーム・町田では  
1ヶ所金森に合  
掌苑があります。

介護保険施

設 ・「特別養護老人ホーム」比較的重い症状の方の施設で相原では杏林荘、つばき、ヴィラ町田、と相原には町田全体の約 1 / 4 の 400 名分の入所施設があります。他には「介護老人保健施設」リハビリーなどおこない在宅に戻る中間的な施設で市内に 6 か所、相原にはサンシルバー町田があり中には高齢者支援センターがあり相談機関になって

## 民生委員からみた相原の現状 堺地区民生委員児童委員協議会副会長 島崎 正子

**民生委員・児童委員の概要** 民生委員・児童委員は、市役所や児童相談所、高齢者支援センター、社会福祉協議会などの関係機関と連携して優しく見守るパイプ役です。これらの機関のサービスの内容や利用方法について、分かりやすく説明し、情報提供をしています。又、受け付けた相談内容によって適切な関係機関を紹介するパイプ役となり、各機関と連携して問題を解決できるようお手伝いをします。適切な対応ができるように、福祉に関する研修を受けています。民生委員・児童委員には守秘義務があります。(2013年5月11日町田市広報「まちだ」に掲載)市町村で設置された民生委員推薦会によって推薦され、厚生労働大臣より委嘱を受けております。併せて社会福祉協議会より委嘱を受けています。そして地域の住民の立場にたって地域の福祉を担うボランティアです。民生委員は民生委員法によって定められ、「社会福祉の精神をもって、常に住民の立場に立って相談に応じ、及び必要な援助を行い、もって社会福祉の増進に努める」(民生委員法第 1 条)ことを任務としています。また、それぞれが担当の区域を

## 町田市老人クラブ連合会副会長 岩田 克也

高齢者団体の活動について、老人クラブは 60 歳以上の方が対象です。相原の 60 歳以上の割合は 33.7%です。相原には 7 つのクラブあります。会員数は 511 名で全国的にみても町田市は加入率が低いので是非加入してください。クラブの運営は、自主的、民主的に会員主導で、社会奉仕・生きがいを高める・健康を勧める・地域を豊かにする等を基本に、地区ごとにバランスのとれた多種多様な活動を行っています。相原住民福祉協議会が行ったアンケートでは身体の不安が上位を占めています。特に起伏の多い相原では買い物や通院など

います。 地域密着型サービスは 小規模多機能居宅介護でデイサービスがあり、ヘルパーの支援が受けられ、宿泊できる施設で町田には 4 か所あります。 住宅として考えられる施設は 有料老人ホームで市内に 33 か所あります。

**認知症と高齢者虐待の関係**、高齢者の 15%が認知症と言われています。施設で利用者を「あだ名」で呼ぶことも虐待になります。養護者が適切な介護をしないことも虐待になります。多い虐待は年金や資産などを養護者のものとしてしまう経済的虐待です。最後に提案として、困る事があれば高齢者支援センターや民生委員、町田市役所に相談してください。また認知症の理解が進むことも大切です。地域や事業所の見守り支援システムも孤独死など防ぐためには大切です。

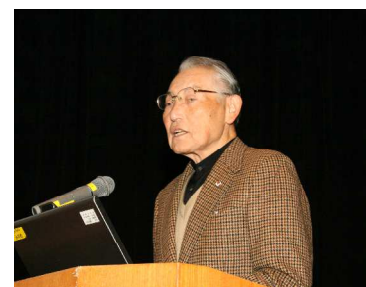
持ち、高齢者や障がいのある方等の見守り活動を行なっています。児童委員は児童福祉法により、民生委員は児童委員を兼ねることとされており、児童



や乳幼児、妊産婦等の福祉や保護等のための相談や援助を行なっています。主任児童委員は児童に関する専門的知識・経験を有する児童委員の中から指名され児童福祉に関する様々な機関と児童委員との連絡調整を行うとともに児童委員の活動に対する援助及び協力を行なう役割を担っています。担当区域を持っていません。民生委員・児童委員は、町田市 254 人、堺地区 27 人(うち主任児童委員 2 人)、相原地区担当は 14 人、任期は 3 年です。

相原は 4 人に 1 人は高齢者で 1 人暮らしの方も多くなって、何らかの支援を必要としている方も見受けられます。民生委員・児童委員は、一人でも多くの方が笑顔で暮らせるよう活動しています。

外出をしやすい環境を整えることが、孤立や引きこもりを防ぎ元気に過ごす上で大切なことがわかります。そのためには安価な多



目的に利用できる乗り物の運行を望む声が 45.1% 歩道の安心安全 15.7%その他 年金で入居できるホーム 公衆トイレ 休憩ができる場所などの要望がありました。

## 地域に合った交通システムの提案 法政大学現代福祉学部教授 宮城 孝

2013年9月16日の日本の高齢化率は25%と全人口の4分の1になり相原地域の高齢化率は、15,231人中3,728人の24.5%とほぼ全国平均(2013年1月1日現在)並みで、その内75歳以上が、1,580人と42.4%となっています。今後、2025年には高齢化率が約30%と急速に超高齢化していくことが予測されます。



相原地域の地域特性と交通問題・相原町における地域生活の特徴は、その他理的条件に大きく影響を受けています。東西に細長く、南に流れる境川付近から北に向かって、低地、台地、丘陵地が連続しています。・小規模な宅地開発により多様な住居と世代が混住しています。特に日常生活で不可欠な買い物先・医療機関が極端に少なく、宅地開発された丘陵地は起伏が激しくかつ道路が狭く、

### 特定非営利活動法人相原やまゆり会理事長 吉野 光章



相原やまゆり会は相原の介護を考える会がスタートです。大地沢青少年センターで平成11年から食事会等を開き、意見を聞き、施設やサービスの内容や質について検

### 一般財団法人相原保善会理事長 青木 悠

保善会の定款の中には福祉事業があります。88歳のお祝い金や輪投げ大会などもその一環で行われています。先人の残してくれた財産を維持にいくことが保善会の役割です。その中に山の管理があります。しかし61年の雪害で大きな被害がありました。その後植林しましたが数年前の豪雨によって10か所以上頂上から崩壊してしまいました。せっかく植えた桧ですが枝打ちなど手をかけて出荷しても僅かな金額にしかありません。保善会の収入の大半は大地沢の青少年センターの地代の1000万円ほどが主な収入です。支出は約60団

コミュニティバスが通らずバス停までが遠い。通院には、八王子・橋本等の隣接自治体へ行かざるを得なく、交通費が高額になるなど、交通条件が極めて悪いことです。

### - 相原地域に合った交通システムの導入を -

あいほら住民福祉協議会が、2007年に行った「相原地区の高齢化と暮らしに関する調査」で地域住民が、「今、不便を感じていること・困っていること」の第1位は、「医療・通院」の22.8%、第2位が「買い物の15.5%となっています。・必要なサービスは、「外出支援」が25.6%となっています。あいほら住民福祉協議会では、その後、住民懇談会での意見聴取、お試し買い物ツアーの実施、町田市内・外にある周辺の医療機関までの距離と車両による移動時間の計測などを行い、これらの結果をもとに、相原地域には、予約による家の前から行き先の玄関まで送迎するあいのりタクシー方式によるデマンド交通システムが適しているとの結論を得ています。

討を重ね発足しました。現在も利用者からの要望に前向きに取り組み、楽しく生きがいを感じてもらえるように努力しています。介護は家族の力だけでは限界があります。住み慣れた地域に長く暮らしていくためにも、施設を利用してください。また、介護の仕事をする若い人達が家庭を持てる経済的バックアップが絶対に必要です。行政の方に是非お願いしたいと考えています。

体に700万ほどの補助金を出しています。その他の事業費や経費や維持費などでこのまま継続して行くのは困難です。愛の家グループホーム町田相原は先人の残してくれた財産の有効的な利用を検討した結果です。利用している方の喜びの声も聴き安心しました。



### 討論会及びまとめ

後半の討論会では、多くの質疑応答がなされました。主な課題としては、・公衆トイレ・坂道ベンチ/手摺り・バス停の雨よけの設置、・見守りの事業所協定、・民生委員の増員、・老人クラブ会員の増強、・高齢者福祉従事者の待遇改善、等です。また、相原地区連合町内会会長平山富士雄氏より地域を代表してご挨拶を頂きました。最後に共催である町田市都市づくり部地区街づくり課長

萩野功一氏より行政側としての今後の医療福祉問題への取り組み施策が示され無事講演会が終了いたしました。



## 第 21 回全国女性消防操法大会で優秀選手賞に



夫の保彦さんは第5分団の分団長をされています。

町田市的女性消防隊は結成されて 15 年になります。普段は広報活動や防災訓練の指導を行って

各都道府県から選抜された精鋭の中、東京都代表として明月堂の飯島さんが3番員として出場し日本一の隊員に選ばれました。

まずが出場決定から半年間、ゼロからのスタートで、週3～4回の訓練を重ね準備をしてきました。町田市女性消防隊は東京の代表としても10年ぶりとなる優良賞も受賞しました。消防庁は女性団員の活動環境の改善を図り団員の加入促進をしています。



## 放課後学習教室「いろは」

平成23年、学校の依頼を受けて毎週水曜日午後に放課後学習教室「いろは」を開催して3年になります。青少年健全育成会の協力を得て、地域の老人会、協力者のお力を頂き、宿題、音読や自主



プリントなどを使った学習を行っています。開設当初は10人足らずだった生徒たちの参加も、昨年より毎回の参加者が40名を超える状況が続き

学校内でも「いろは」の存在が浸透してきたことを実感しています。地域で協力をいただいている方々の励ましや身守りで、多くの子供たちが自信を持って「また来るね!」と声を掛け、手を振って笑顔で帰宅する姿はとても微笑ましいです。今の課題は子供たちに対応して頂けるスタッフを増やす事です。ボランティアスタッフを募集しています。毎週、水曜日13時～16時相原小学校3棟3階 算数教室 連絡先;相原小学校ボランティアコーディネーター 横溝一枝 電話 090-4842-3046まで

## あいほら幼稚園が新しくなりました

相原住民が幼児教育と子育て支援とを目的に開設された季節保育所は、移管の変遷をたどり幼稚園へと変貌してまいりました。近年の子どもを取り巻く環境の変化の中で、幼児教育の場においても時代のニーズに合わせた幼稚園の環境づくりが求められていますので、数年前からあいほら幼稚園は、安全・安心な教育施設及び自然環境に配慮した教育施設への様変わりについて協議を重ねてまいりました結果、平成25年12月新園舎竣工となりました。例えば、太陽光パネル設置による発電、保育室には冷暖房・ペアガラス・LED 設備

で省エネルギー化、全教職員携帯のランシーバの有効活用と防犯対策、広さ60㎡の保育室の多目的活用、保護者が集うコミュニティ広場の設置等は、その一例です。



## 町田市消防署「防火のつどい」で表彰状授与

相原町まちづくり協議会は町田市消防署より感謝状を頂きました。これは平成24年度の活動として作成し、地区全域に全戸配布させて頂いた「相原生活マップ」の一次避難場所、消火栓、協力井戸等、防火・防



災関連の記載が各町会・自治会に依頼された防災マップと合わせて評価されました。町田消防署西町田出張所の推薦により受賞致しました。表彰式は平成25年11月21日に鶴川ポプリホールで行われ、土田理事長が出席しました。「相原生活マップ」が多方面にお役に立つよう祈念するとともに作製にあたりご協力を頂いた皆様にあらためてお礼を申し上げます。

相原まちづくり協議会では相原の歴史、自然や各種行事など近隣地域を含めた広範囲の情報を皆様にお伝えする事を目的にホームページの作成に取り掛かりました。住民の方のご意見を反映させながら順次、充実

したものにして行こうと考えています。当面、今年度末には基本的なページをインターネット上にアップできるよう作製を進めています。